

ランツァ

LANZA

SUPER TRAIL

YAMAHA



オフロードの天才。

思いっきりトラクションを活用しながら、
林道を力強く、シャープに駆けるランツァ。
そんな熱い走りにぴったりの、精悍なヤマハワークス
イメージカラーで身を包んだ、
ブルーのニューランツァが誕生した!



ストリートの英雄。

ランツァの熱いハートをクールに包んだ、シルバーカラーが誕生。
フェンダー、ライトカバー、サイドカバー、テールカウルを、
クオリティ感の高いシルバーメタリックで塗装。
新採用のブラックリムも、ド迫力!



オフロードの天才。

思いっきりトラクションを活用しながら、林道を力強く、シャープに駆けけるランツァ。そんな熱い走りにはびったりの、精悍なヤマハワークスイメージカラーで身を包んだ、ブルーのニューランツァが誕生した!



Traction Control System!

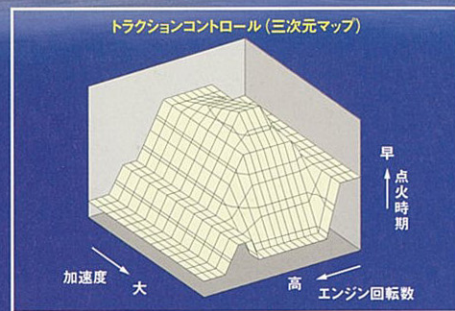
コーナーの出口が見え、グッとアクセルを開ける。後輪のトラクションはしっかりと維持され、安定してコーナーを抜ける。こんな快感、ランツァならではの!



マイクロコンピュータ制御により、常に最適なトラクションを実現。ハイレスポンスなエンジンを最大限に活かし、リアタイヤのトラクションによる積極的なマシンコントロールを行っていくために、トラクション・コントロール・システムを搭載。8ビットのマイコンが、エンジン回転上昇率の変化を常にチェックし、急激な加速によるホイールの過度な空転が起きにくいよう点火マップを制御。しかも制御には、加速に応じた点火マップを使い、きめ細かに最適な制御を行っていく。この画期的なシステムが、滑りやすい砂うきの路面や雨中の鉄板・ペイント、さらに赤土や砂利道など、様々な路面状態に対してトラクションを最適化、街中から高速道路、そ

してオフロードまで、エンジンレスポンスを最大限に活かした、ライダーの意志にリニアに応える鋭い走りを実現させている。

ランツァのトラクション・コントロール・システム。そのコントロール状態を表現したものが、右の三次元マップである。通常のマシンでは滑りやすい路面で不用意にアクセルを開けると、大きくスリップしてトラクションが失われてしまう。トラクション・コントロール・システムを搭載したランツァは、常に最適なトラクションを維持できるよう、スリップ状態をきめ細かく設定された点火マップにより制御。エンジンレスポンスを最大限に活かせるとともに、トラクションによるマシンコントロールを容易に行える。



※トラクションコントロールシステムは、エンジン回転上昇率の変化を常にチェックし、急激な加速によるホイールの過度な空転が起きにくいよう点火マップを制御することで、様々な路面状況に最適なトラクションを維持しようとするシステムです。オフロードでのコーナーへの進入など、すべてのスリップや空転などを防ぐものではありません。

“速く、楽しく” から生まれた新しい性能。トラクションコントロールが、様々な路面で威力を発揮!

林道の路面の複雑さは、モトクロスコースの比ではない。滑りやすい赤土や、玉砂利、ぬかるみ、そして一部舗装の砂うきの路面など…。そんな多様な表情を持つ林道を、より速く、より楽しく走るための性能を満載したランツァ。トラクション・コントロール・システムが、林道はもちろん、街やワインディングなどの舗装路でも、ランツァならではのイキのいい走りを実現する!

2-Stroke High Power! Quick Response!

登りのコーナー立ち上がりでも、きわめて気持ち良く加速していく。そして吹き上がりのシャープさ! まるで、心とエンジンがダイレクトに繋がっているみたいだ。

Just Size! Light Weight!

軽くてコントロールしやすい大きさのランツァは、マシンを自在に振りまわせる楽しさがいっぱい! 走るたびにスポーツの後にしか味わえない、スカッとした爽快な気持ちになれるんだ。

Easy & Fun!

頼れるものがない林道で、スタンドもめり込んでしまうような路面でのキック始動は、本当に不安になるものだ。ランツァならセルで簡単に始動できるから、気軽に楽しい気分、様々な路面にチャレンジできる。

2ストロークならではの

ハイパワーとクイックレスポンス、ハンドリングも軽快!

林道スポーツ走行の快感の核となる、エンジンのパワー感と吹き上がりのシャープさをハイレベルで両立させるために、最適なエンジンを追求。排気量224 cm³を選択し、軽快な高回転域までの吹き上がり40psのハイパワーを発揮する。極めてコンパクトなエンジンを開発した。加えて、低速域から高速域まで、これまでのレース指向のマシン以上に、幅広い対応力とライダーの意思に即応する優れたエンジンレスポンスを追求。ボア×ストロークは66.8 mm×64mmとロングストロークに設定し低速域から十分なトルクを獲得。さらに慣性マスやギア比の最適化を図り、街から林道まで、あらゆるステージを躍動的に、自由に駆けまわるための高性能を達成。効率的に冷却を行う水冷システムとあわせて、長時間のスポーツ走行にも、安定したパワーと高い信頼性を実現している。また、ハンドリングとブレーキングについても、ライダーの要求にリニアに応えるハイレスポンス性を追求。軽量なデジタルメーターを採用するとともに、メインスイッチをフレームにマウントしてハンドルまわりの重量を低減させ、軽快なハンドリングを実現。ブレーキシステムにフ

いても、フロントに外径φ245mm、リアに外径φ220mmの油圧式ディスクブレーキを装備し、優れたブレーキタッチにより、様々な路面状況に対応するリニアなコントロール性と、強力な制動性能を両立させている。

自在な走りを実現する、軽量・コンパクトボディ。

アルミ製リアアームも新採用!

走る楽しさ、マシンを操る楽しさを徹底的に追求するという、新たな視点からボディを設計。林道における真のハイパフォーマンスとともに、シート高の低減とボディ全体のコンパクト化と軽量化により、マシンを「自由に振りまわして走れる楽しさ」を実現した。フロントサスペンションはφ41mmフォークを採用し、圧減衰力調整機構を装備。加えて、リアのリンク式サスペンションにも、伸圧減衰力調整機構付のクッションを装備し、優れた基本性能を確保。その上でサス

ペンションのストロークやセッティングを、リアルな林道の状況に合わせて最適化することで、優れた路面追従性と緩衝性と同時に、これまでのオフロードマ

シンとは一線を画す低いシート高を達成。さらに、ホイールベースを縮小するとともにラジエター幅も縮小し、きわめて高いコントロール性を備えたジャストサイズボディを実現した。また、ランツァは軽量化も徹底的に追求。コンパクトなエンジンやボディ、軽量な小型セルモーター、デジタルメーター、アルミ製フレームガードの採用など、随所で軽量化を実現。さらに今回、リアアームも新たにアルミ製とし、質感を一層向上させている。

より楽しい林道走行のために様々な配慮。環境に配慮のYCLSも新たに採用。

「林道をアクティブに気持ち良く楽しむ」という、新しいコンセプトから生まれたランツァ。その楽しさを最大限に味わうために、より扱いやすく、楽しく走するための配慮が凝らされている。そのひとつが、クラス初搭載[※]のセルスターターだ。足場が不安定な場所でもスピーディーにエンジンスタートを行え、エンストへの不安



も解消。さらに、デジタルメーターは、液晶バックライトによって、昼夜・天候を問わず安定した視認性を確保。数字表示のスピードメーター、走行距離計、トリップメーターに加え、時計や、加算/減算両用のサブトリップメーターも装備するなど、デジタルならではの多機能な利便性を実現。また今回、ヤマハが開発した新機能のオイル供給システムYCLS (Yamaha Computerized Lubrication System) を新たに搭載。エンジン回転数に応じて、マイクロコンピュータでオイルポンプからエンジンへ供給するオイルの量をコントロールして余剰なオイルをオイルタンクへ戻すことで、排気煙を大きく減少させ、マフラー詰まりによる性能劣化を低減するとともにオイル消費量を削減。2サイクルならではのクイックレスポンスの快感と、環境への配慮を、ハイレベルで両立させている。

※国内市販軽二輪の公道2ストロークレールマシン ('96年11月 当社調べ)

